

平成31年度に取り組む主な事業

第4次狭山市総合計画に掲げる4つの重点テーマに沿って、平成31年度に行う主な事業を紹介します。

テーマ4 市政運営をみんなの力で

市民、市民団体、事業者、行政が連携、協働しながら、次の世代につながる元気なまちづくりを進めます。

市民の活力を生かしたまちづくりの推進

●入曽地区地域交流施設(仮称)整備事業

8億7,960万3千円

公民館の機能を継承しつつ、地域住民の相互の交流や連携の促進を図るため、入曽地区地域交流施設(仮称)を整備します。今年度は、昨年度に引き続き整備工事を行うとともに、令和2年4月の供用開始に向けた準備を進めます。

●協働推進事業 354万1千円

協働によるまちづくり条例に基づき、提案型協働事業を推進するとともに、市民との協働を進める仕組みづくりを進めます。



市のイメージアップとシビックプライドの醸成

●シティプロモーション推進事業 2,753万7千円

市政や市の魅力を市内外に効果的に発信し、市のイメージアップと市民の郷土愛の醸成を図ります。今年度は、公式ホームページをリニューアルします。また、「狭山市ふるさと年賀はがき」の作成販売と、市役所で挙式を挙げる「届け出挙式」を行います。

●東京オリンピック・パラリンピック推進事業 1,559万1千円

東京2020大会の円滑な運営と成功に向けて組織委員会等と協働して機運醸成などに取り組むとともに、市としてレガシー創出に向けてオリンピックやパラリンピアンによる講演会の開催や競技体験などを実施するほか、小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の機会を提供します。



テーマ3 楽しめる健康高齢社会を

子どもから高齢者まで、健康でいることが当たり前となるよう、健康第一の地域づくりを進めます。

健康意識のさらなる高揚

●健康づくり推進事業 1,547万7千円



健康づくりを気軽に行える、健康遊具を引き続き設置していきます。

公共交通の充実

●地域公共交通対策事業 436万6千円

市内循環バス「茶の花号」の運行ルートなどの見直し後の利用状況を踏まえ、運行のより一層の充実について検討を進めるとともに、交通空白地域のさらなる解消に向け、地域住民のニーズなどを踏まえ、新たな地域コミュニティ交通のあり方についても調査研究します。また、その一助として、民間病院の送迎バスを活用した高齢者外出支援事業を行います。

スポーツの推進

●スポーツ施設整備推進事業 4,002万3千円



武道館の整備に関する基本方針に基づき、新たな武道館の整備を行います。今年度は、建物、駐車場及び外構工事などの基本設計と詳細設計を行います。

防災体制の充実

●防災設備整備事業 1億7,017万6千円

災害情報の伝達手段の充実を図るため、防災行政無線のデジタル化を進めています。今年度は、屋外拡声子局33か所の更新を実施します。



テーマ2 まちと産業に活力を

快適な都市空間を構築し、産業を活性化し、活気のあるまちづくりを進めます。

企業の支援と企業誘致の推進

●産業労働センター管理事業 9,351万円

中小企業・小規模事業者に対し、販路開拓や新分野開拓、新製品開発などを支援するとともに、創業希望者に対しても起業などに関し総合的に支援する狭山市ビジネスサポートセンター業務を4月から開始します。



●狭山工業団地拡張地区基盤整備事業 8万1千円

狭山工業団地に隣接する2地区において、土地区画整理組合及び民間事業者により実施される産業基盤整備が円滑に推進されるよう支援します。

都市基盤の整備

●入曽駅周辺整備事業 1億2,476万9千円

入曽駅周辺の安全性や利便性を高めることを目的に、今年度は駅前広場など詳細設計や換地設計のほか、東西自由通路や橋上駅舎の基本設計を行います。また、民間の商業施設の誘致について、事業者の募集と選定を行っていきます。

●狭山市駅加佐志線整備事業 2億4,744万5千円

狭山市駅東口土地区画整理事業区域境から東京狭山線までの、延長約930mの区間の整備を進めます。今年度は用地取得を進めます。

●笹井柏原線整備事業 1億1,849万円

工業団地日高線から東京狭山線間の一部区間延長約420mと、国道407号から上広瀬土地区画整理事業区域境までの区間延長590mの整備を進めます。今年度は、用地取得を進めるとともに、道路改良工事を行います。

テーマ1 若い世代を増やす

少子化と人口減少の進行を抑制し、持続可能なまちづくりを進めます。

子育て世帯などの定住促進

●親元同居・近居支援事業 2,800万円

市内に居住する親世帯と同居または近居するために、市外から転入する子世帯に対し、住宅の新築や取得、増改築などにかかる費用の一部を補助します。

仕事と子育ての両立支援

●母子保健型利用者支援事業 1,494万円

妊娠から子育て期にわたるまでの育児に関するさまざまな悩みに対応するため、保健師などが直接面談して、妊産婦の状況を伺い、専門的見地から相談支援などを行います。



●民間保育所等施設整備補助事業 4億503万5千円

新たに約200名の保育の受け皿を確保するため、認可保育所などを開設しようとする事業者には補助金を交付します。

基礎学力の向上、教育環境の充実

●学力向上推進事業 1,884万1千円

基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を目指し、小学校4年生を対象に算数の集中講座を外部講師が行う小学生学習支援事業を実施します。

●小学校校舎等改修事業 3億6,941万円

老朽化した校舎などの建物の維持や改造及び給排水・電気設備などの更新を計画的に行います。今年度は、広瀬小学校他4校の児童用トイレ及び富士見小学校ほか6校の教職員用トイレを洋式化にします。

